

～2階を見ていこう～

屋根裏上部を比較すると、
④の方が炭化亀裂痕が深いね！



③の部屋の床や床付近の壁は燃えていないけど、④の部屋の同じ箇所は焼けているね。なので、④の部屋の方が出火箇所に近いことが分かるよ！

⑤の部屋の壁は、左右両方が一部焼失、変形しているね。奥の壁の炭化亀裂痕も④の部屋より深いね。なので、④より⑤の部屋の焼けが強いことが分かるよ！

左壁は形を保ったままだが、右壁は焼失、変形している。左側より右側の焼けが強い。



⑥の部屋は床が焼けておらず、⑤の部屋と比較して焼けは強くないね！

以上のことから、2階で一番出火室に近いのは⑤の部屋だね！



出火室が1階の②の部屋か2階の⑤の部屋か迷うね。1階から炎が上がって2階の各部屋や屋根裏へ延焼したようにも見えるし、2階から屋根裏に延焼し、その後、2階の各部屋や1階へ焼け下ったようにも見えるね…
右の**出火時の映像**で、出火箇所と延焼経路を確認してみよう！



出火時の映像

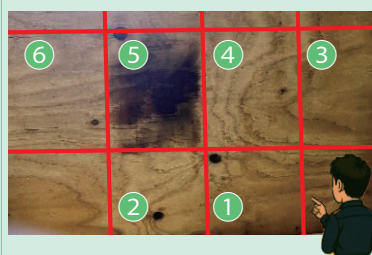
ここからは右上の出火時の映像を見てから読んでね



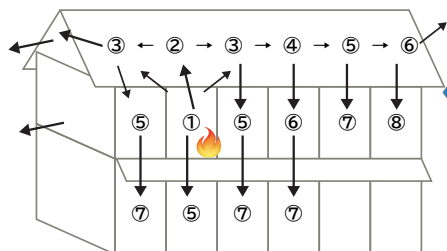
ざんざ
(残渣を取り除いた状態)

出火室を検討していこう！

⑤の部屋の床はほとんど焼失し、炭化亀裂痕も残っているけど、②の部屋の床はあまり焼けてないよね！
②の部屋の床から炎が立ち上がった場合、②の部屋の床はもっと焼けが強くなるよ！



また、建物の裏側を見ると⑤の部屋の壁だけ焼けていることが分かるね！



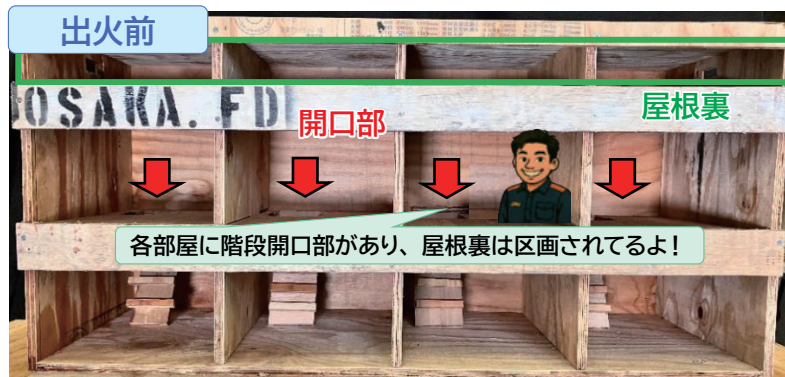
(木造建物 2階出火の延焼経路)

以上のことから、2階の⑤の部屋から出火したことが分かるね！
今回のように木造建物の2階から出火した時は、このように延焼していくよ！

出火室を検討する際、床を出して焼けの強さを見ることはとても重要なんだ。あと、建物を俯瞰で見たり、建物の裏側等を見ることも出火場所や出火室を検討する上で大切だね！
出火室は予想できたかな？次号も見てね！

「調べて、広めて、市民を守る。」

出火前

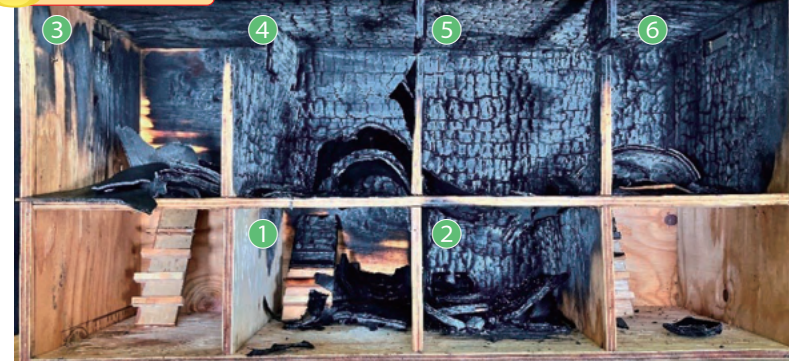


田淵主任
(たぶっちゃん)

今回は、木造長屋のミニチュア模型で焼けの見方と延焼経路について取り上げるよ！
上の写真は出火前の長屋だよ。各部屋は区画されていて、開口部は階段部分のみだね。各部屋に内在品は何も置いてないよ！



出火後



小松主任
(こまつちゃん)

右の写真から出火室を予想してみてね。焼けがある部屋に①から⑥の番号をつけたよ。

～1階を見ていこう～

1階の①と②の部屋を比較すると①の部屋は階段と天井の一部に焼けがあり、ほとんど焼けずに残っているね。一方で②の部屋は階段が焼失し、天井や壁の一部も焼失、炭化亀裂痕も見られるね！
つまり、②の部屋の方が①の部屋と比べて焼けが強いね！
※木材の焼けは、地色→変色→焦げ→炭化→剥離→焼失の順に強くなるよ。(炭化亀裂痕に関しては前月号でも説明しているよ！)



校外研修



実践火災想定

視察研修

陸上自衛隊 信太山駐屯地



ウィアー ルーキーズ!

大阪府立消防学校 初任教育生 月間報告



8月22日に大阪府和泉市に所在する陸上自衛隊・信太山駐屯地で、視察研修を行いました。

本視察研修は、国民（市民）の生命及び財産を保護する防災機関である自衛隊の組織体制を学び、また施設、装備の見学を通して自衛隊の規律保持や使命感、統率力のあり方を学ぶことを目的としています。

初任教育生は、訓練見学や自衛隊学生と意見交換会を実施し、お互いの志望動機や学校生活などの情報共有を行いました。自衛隊学生と意見交換をするにより、互いの経験をかち合い、更なる士気の向上に繋がりました。

信太山駐屯地の皆様、熱心で丁寧なご指導、本当にありがとうございました。消防学校生活も残り約1ヵ月、この研修経験を訓練等に活かしてほしいです。

初任教育生の成長にご期待ください。

渡過訓練



三連はしご訓練



降下訓練



第118回初任教育生の訓練がいよいよ大詰めとなった8月26日、27日の2日間にわたり『校外研修』を大阪市高度専門教育訓練センターで実施しました。

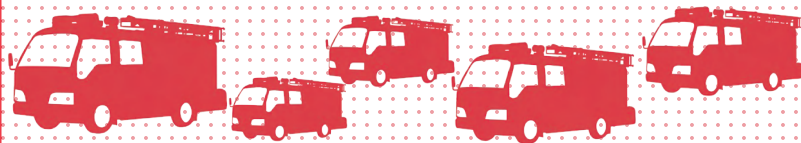
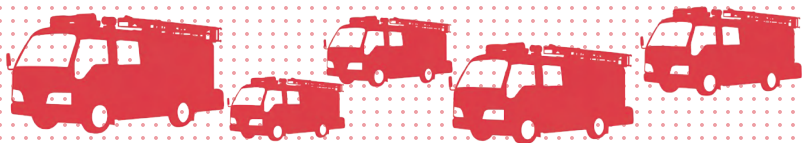
校外研修は、基礎的な消火訓練及び救助訓練を行い、所属帰任時の現場対応能力の向上に加え、高度専門教育訓練センターと府立消防学校による合同での訓練指導により、教官の指導能力の向上や府市連携を図ることを目的としています。

学生は、府立消防学校で学んだ技術を発揮しようとしたが、慣れない環境下ということもあり、戸惑っている学生も見受けられました。

いっここで発生するかわからない災害現場で実力を発揮する困難性を痛感し、この経験を糧に今後はより一層の知識や技術の向上に努めてほしいと思います。



信太山駐屯地の皆様ありがとうございました!



箕面市消防本部 令和7年度箕面市防火作品審査会

箕面市消防本部では、9月3日に市内の小・中学生を対象に「防火作品審査会」を開催しました。夏休み期間中に募集した防火をテーマとした図画や習字は、応募総数877点にのぼり、審査会場には子どもたちの思いがこめられた力作がずらりと並びました。

審査員からは「毎年作品を見るのを楽しみにしている」との声もあり、どの作品も表現力にあふれており、審査はたいへん難航しましたが、最終的に図画20点と習字20点が優秀作品として選ばれました。

これらの作品は、10月31日から11月16日まで、市内2カ所の公共施設で展示され、11月には選ばれた児童・生徒を対象に消防本部で表彰式を行います。

さらに、特に防火啓発にふさわしいと評価された図画2点は、秋と春の全国火災予防運動にかかるポスターとして採用され、市内各施設及び事業所に掲示されます。

消防本部では、こうした取組を通じて子どもたちと市民の防火意識の向上につなげていきます。



摂津市消防本部 立て坑救助訓練を実施

摂津市消防本部では、近年、増加している老朽化した下水管の破裂等による道路陥没やマンホール内で発生した事故への対応力向上のため、マンホール内点検作業中の転落事故を想定した「立て坑救助訓練」を実施しました。老朽化が進む下水道施設では、事故のリスクが顕在化しているため、迅速かつ的確な対応が求められます。

今回の訓練では、本市上下水道部下水道事業課の協力のもと、下水管に関する座学を受講した後、市内の下水管を使用し、実戦に近い環境下での救助訓練を行いました。これにより、現場での対応力を高めるとともに、関係機関との連携強化にもつながり、災害発生時の初動対応の充実を図ることができました。

災害対応に従事する職員として、市民の生命と財産を守る使命を胸に、信頼に応えるべく日々研鑽を積んでおります。

今後も関係機関との合同訓練や研修を継続し、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



枚方寝屋川消防組合 「全庁的な住宅防火・防災対策」を実施しました！

枚方寝屋川消防組合では、9月1日から21日の住宅防火・防災キャンペーンにあわせ、全職員の人的リソースを投入した「全庁的な住宅防火・防災対策」を実施しました。

短期間で集中的に取り組むことで大きなインパクトを与えることを狙い、住宅用火災警報器の普及促進と感震ブレーカーの認知拡大を試みました。

具体的には、木造密集地域など火災危険が高い地域を中心に、住宅用火災警報器の設置や維持管理の状況などを確認し、リーフレットや動画を活用して説明を行う「住宅防火・防災一斉調査」や、商業施設や地域の花火大会など、多くの人が集まる場所で「防火・防災イベント」を行い、効果的に防火・防災の重要性を伝えることができました。

全職員が同じ目的に向かって集中して行動し、地域に直接働きかける取り組みを実現しました。

今回の取り組みをまとめたコマーシャル動画も作成しましたのでぜひご視聴ください！



【コマーシャル動画】



岸和田市消防本部 9月9日救急の日のイベントとして「救急フェア」を開催しました！

岸和田市消防本部では、令和7年9月、市内ショッピングモールの「ラパーク岸和田」で応急手当の普及啓発、救急車の適正利用、救急業務を理解していただくため「救急フェア」を実施しました。

AED・胸骨圧迫体験、救急資器材の展示・紹介、防火服体験、救急車展示・車内資器材の展示、救急活動展示（救急活動SHOW!）を行いました。各ブースではスタンプラリーを実施し、岸和田消防マスコット「きしぼう」と記念撮影など、お子さんにも楽しく体験していただきました。

また、市内救急医療機関にもご協力いただき、岸和田市民病院看護師による医療相談や岸和田徳洲会病院ラビッドレスポンスカーの展示を行いました。

参加者からは「胸骨圧迫のやり方がわかった」や「救急隊の活動を見てよかった」と喜びの声をいただきました。市民の方々に応急手当、救急車の適正利用や救急業務について理解を深めてもらいました。

はじめに

前号では、予防課が分析した令和6年中に発生した建物火災のうち、規制対象物の火災発生時における避難、通報、消火活動実態等をご紹介します。

今月号では、火災発生時における消防用設備等の使用(作動)状況を見ていきます。

消火設備

■消火器の使用状況

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に消火器が設置されていた対象物での火災は415件でした。(図) そのうち消火器を使用した火災は135件あり、完全消火または延焼阻止できたものが99件で、消火器を使用した火災の73・3%でした。

また、使用したものの効果がなかった火災は36件あり、その主な理由は表1の通りです。

一方、消火器を使用しなかった火災は280件で、そのうち消火の必要があったが使用しなかった火災は110件あり、その主な理由は表2の通りでした。

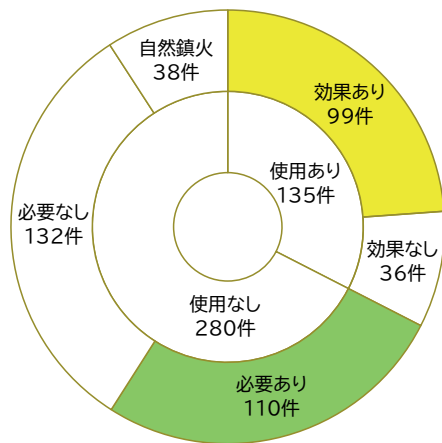


図 消火器の使用状況(総数415件)

表1 有効に消火できなかった理由

有効に消火剤がかからなかった	5件
濃煙が充満していた	4件
発見が遅れた	4件
あわてていて消火できなかった	2件
多量の可燃物に着火後急激に拡大した	2件
消火設備の消火剤不足	2件
消火困難場所に延焼又は出火	2件
その他	15件
合 計	36件

で、そのうち火災が小規模等の理由により作動に至らなかったものが67件、法定警戒不要部分での出火が10件、不詳・その他が62件でした。

なお、火災の発生した規制対象物の1件あたりの焼損床面積と比較すると、設置済みが3・1㎡、未設置が7・8㎡で、自動火災報知設備の設置による被害軽減の効果が顕著であることが示されました。

■非常警報設備・器具の使用状況と効果

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に非常警報設備または器具が設置されていた対象物での火災は44件でした。そのうち14件(31・8%)で非常警報設備又は器具が使用され、通報や避難を促す等、所期の目的を達成しました。一方、使用しなかった火災は30件(68・2%)でした。

規制対象物における火災発生状況

―まとめと火災予防対策―

規制対象物での出火原因は、1位「電気製品」、2位「たばこ」、3位「電気配線類」、4位「ガスコンロ」、5位「たばこ油」という結果となりました。

規制対象物における火災の特徴としては、共同住宅等での出火が大半を占めていることや、近年、電気関係の火災の割合が増加していることが挙げられます。引き続き、市民に対する火災広報や火災予防対策を推進していく必要があるといえます。

火災の発生や被害の程度については、防火管理と深い関係があります。平成13年9月に多数の死

表2 消火器を使用しなかった理由

施錠のため室内進入不能	14件
出火場所がわからなかった	14件
避難に重点をおいた	12件
あわてていて消火できなかった	8件
出火箇所がわからなかった	7件
施錠のため建物内への進入不能	7件
濃煙が充満していた	6件
消火困難場所に延焼又は出火	5件
無人又は不在だった	4件
発見が遅れた	3件
ダクト内に延焼し又は出火した	3件
通報している間に拡大した	3件
消火方法がわからなかった	2件
感電・爆発等の危険を感じた	2件
消火設備の設置場所がわからず	2件
その他	18件
合 計	110件

■屋内消火栓設備の使用状況

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に屋内消火栓設備が設置されていた対象物での火災は100件で、そのうち屋内消火栓設備が使用されたものは5件(5・0%)でした。

屋内消火栓設備を使用しなかった火災は95件(95・0%)あり、そのうち56件は火災が小規模等であつたため同設備を使用するに至りませんでした。

一方、消火の必要はあつたが同設備を使用しなかった火災は24件あり、その主な理由は表3の通りです。

傷者のあつた新宿区歌舞伎町の雑居ビル火災では、被害が大きくなった要因として、避難階段に多くの物品が置かれていたため、急激に燃焼拡大し避難が困難だった等、防火管理が適切に行われていなかったことが指摘されています。防火管理が適切に行われている対象物は、階段・通路及び消防用設備等の維持管理が図られているだけでなく、防火に対する意識も高いと考えられます。

データをたどると、火災発生初期の段階で消防用設備等が適切に作動し活用されることにより、焼損床面積及び損害額が小さくとめられていることが分かります。その一方で、消防用設備等の使用方法が分からなかった、消火設備の設置場所が分からなかった等、消防用設備等に対する関心が低いと、火災発生初期に適切な行動ができない場合もあることがうかがえます。

おわりに

消防用設備等を万一の場合に確実に作動させまたは使用するためには、日常の点検をはじめ、定期的な外観点検及び機能点検の実施が重要です。立入検査や消防訓練指導等を通じて消防用設備等の効果や適切な維持管理の重要性を建物関係者に理解してもらえようように努め、安全な対象物の実現のために協力して取り組んでいきましょう。

表3 屋内消火栓設備を使用しなかった理由

出火箇所がわからなかった	4件
出火場所がわからなかった	3件
施錠のため室内への進入不能	3件
避難に重点をおいた	2件
濃煙が充満していた	2件
あわてていて消火できなかった	2件
消火困難場所に延焼又は出火	2件
その他	6件
合 計	24件

■スプリンクラー設備の作動状況

規制対象物の火災435件のうち、出火当時にスプリンクラー設備が設置されていた対象物での火災は62件あり、そのうち9件(14・5%)で作動。一方、作動しなかった火災は53件(85・5%)あり、作動しなかった理由は、「自然鎮火したもの」、「スプリンクラー設備が作動するほど火災が拡大しなかったもの」、「出火箇所がスプリンクラーヘッド不要の場所であつたため作動しなかったもの」などでした。

警報設備

■自動火災報知設備の作動状況と効果

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に自動火災報知設備が設置されていた対象物での火災は328件でした。そのうち189件(57・6%)で自動火災報知設備が作動し、初期消火や通報、避難を促す等、所期の目的を達成しました。

一方、作動しなかった火災は139件(42・4%)

「市民の声」から 明日のあなたの仕事に活かしたい こんな声 届いています！

【消防署へのお礼】

〇月に梅田でたばこのポイ捨て後にごみが燃えて、大惨事になるところだったというニュースがあり、一市民のこのようなモラルに欠ける行動が、大きな事件・事故につながるのだと、改めて考えさせられました。人間の行動を変えるのは容易ではありませんが、消防の皆様が消火活動・人命救助など、命がけのお仕事に懸命に取り組んでくださっていることは、間違いなく市民の防火に関するモラル向上につながっていると思います。

【救急隊へのお礼】

〇月〇日の午前中、〇〇医院から〇〇病院へ救急車で運んでもらいました。心筋梗塞との診断を受け、44日間入院しましたが、おかげさまで退院することができました。今はまだリハビリ中で、高齢でもあり自由は効きにくいですが、ぼちぼち生活できています。運んでくれた救急隊に御礼を伝えてください。

【消防隊へのお礼】

Xで〇〇消防署のみなさんが、子猫を救出している動画を見ました。賛否両論あるみたいですし、人命じゃないのにと思われる方もあると思いますが、野良である可能性が高いにも関わらず、猫ちゃんを救出してくれてありがとうございます！ これからも応援しています。

広聴担当からの コメント

日々私たちが行っている消防業務は、消防職員として当然の務めとはいえ、このように市民の期待に応えることができ、「感謝の声」を頂けることは大きな励みになります。常に市民に見られていることを自覚し、これからも市民の皆様のお気持ちに寄り添った、親切で丁寧な対応を心掛けていきましょう。

【救急隊の対応について】

母が急病の際に救急車を呼びました。隊長らしき人が、電話で病院の方に症状を説明している時の軽々しい態度が、とても気に障りました。病院到着後、結局、医師からは、母が重篤な状態だと説明を受けました。医師でもない人間に「どこの病院に行っても同じ感じですよ」「大きな病院に行きたいから救急車を呼んだのですね」などと、いろいろ言われた事が今でも無性に腹立たしく、人の命を助ける人の態度かと思うと悲しくなります。

広聴担当からの コメント

市民から寄せられたご意見の中には、消防職員の対応に不快感を覚えたという声もありました。私たちが意図して伝えた内容が、市民に全く異なる意味で受け取られてしまい、誤解を生んでしまうこともあります。

誤解を防ぐためには、もう一步踏み込んで相手の立場や状況に寄り添った言動を心掛けることが大切です。

消防職員は、市民から頼りにされる存在です。どのような状況でも、消防のプロとして「市民ファースト」の姿勢で対応できるよう努めましょう。

ふるさと日記



Vol.2

このコーナーでは、大阪市消防局の職員が
素敵なふるさとをご紹介します！

やがため 矢堅目公園



島の北西部に位置し複雑な海岸線、断崖絶壁など迫力のある風景が一望できます。写真の大きな岩は、ジブリ映画でおなじみのトロに似ていることから「トロ岩」と呼ばれています。日中も絶景が広がりますが、夕日が沈むころには幻想的な風景が楽しめます。

しんかみどうちよう 新上五島町

ハマシナ



島の北東部に位置し、透けるような青い海と白い砂浜が織りなす絶景は、日常の喧騒を忘れさせてくれます。

【ナベログおすすめグルメ】

刺身盛り

オススメは「ヒラス（ヒラマサ）」。



五島うどん

「あごだし」につけるのがオススメ。やみつきになること間違いなし！



かつとっぽ

ハコフグの中に味噌などを詰めてホイル焼きにした五島の郷土料理。居酒屋にあればラッキーです。



かしらがしまてんしどう 頭ヶ島天主堂



島の東部に位置し、2001年に国の重要文化財に指定された石造りの教会。ステンドグラスの窓に光が差し込む光景は神秘的です。

私の故郷である長崎県五島列島は長崎市から約100km西に位置しています。大小152の島々が連なる列島北部の中通島、新上五島町で育ちました。五島の魅力は、何といてもエメラルドグリーン美しい海。夏にはダイビングはもちろんのこと、黒潮から分岐した対馬暖流が良質な魚を育てるため「釣りの聖地」としても有名です。また、平成30年に世界遺産にも登録された29もの教会があり「祈りの島」とも呼ばれています。

特産品は、新鮮でおいしい魚のほか「五島うどん」も有名で、細麺ですがコシがあり、あごだし（とびうお）との相性は抜群です。そして、ぜひ食べていただきたいのが、ハコフグの味噌焼き通称「かつとっぽ」です。味噌の濃厚な味わいにハコフグの淡泊な身が絶妙にマッチングし、日本酒に抜群に合います。

大阪府立消防学校出向中に初任教育生から別名「ナベログ教官」と呼ばれていた私が自信をもってオススメします！この記事をご覧になって興味を持たれた方は、ぜひ、「五島に来なかな！」（来てください）

救急部救急課（救急指導）
渡辺 悠介

交通アクセス

伊丹空港 → 長崎空港 → 長崎港 → 上五島

〈飛行機利用 約4時間〉

新大阪駅 → 長崎駅 → 長崎港 → 上五島

〈新幹線利用 約6時間〉

